

別記様式

発行番号 更2023-0047号

認 定 証

種 別	消火設備（消火設備用合成樹脂製の管及び管継手）
型 式 記 号	KCPE-FD02
適 用 規 格	B018-19・B019-19
申 請 者 名	所 在 地 大阪府堺市西区石津西町14-2
	名 称 株式会社クボタケミックス
	代 表 者 代表取締役社長 高山 純
認 定 番 号	PL-030号
認 定 年 月 日	平成23年（2011年）03月24日
認 定 有 効 期 限	令和08年（2026年）03月31日

上記適用規格に適合するものであることを認定します。



一般財団法人 日本消防設備安全センター

理事長 北 崎 秀 一

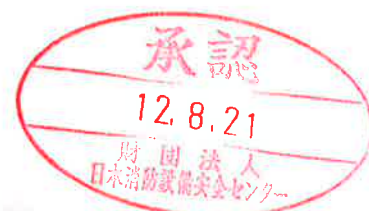


様式1号

合 成 樹 脂 製 管 等 の 明 細 書

申請者 クボタシーアイ株式会社

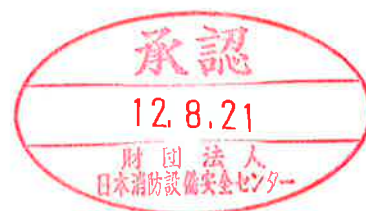
項 目		明 細	
1	型式記号	KCPE-FD02	
2	呼び径	150A	
3	最高使用圧力	1.25 MPa	
4	最大支持間隔	呼び径150Aの管 2m	
5	材質	規格	日本水道協会 水道配水用ポリエチレン管 (JWWA K 144) 水道配水用ポリエチレン管継手 (JWWA K 145)
	材質	材質	高密度ポリエチレン (HPPE/PE100)
	引張・降伏強さ	20N/mm ²	
6	管継手の種類	別表による	
7	接続方法 (方式)	電気融着 (EF) 接合方式	
8	等価管長	管継手	別表による
9	用いることができる消火剤		—
10	特殊試験項目	気密試験	有 無
		長期静水圧試験	有 無
		耐薬品性試験	有 無
		耐候性試験	有 無
		耐熱性試験	標準耐熱性試験 有 無
		耐熱性試験	輕易耐熱性試験 有 無
		高難燃ノンハロゲン性試験	有 無
11	適用消火設備	屋内消火栓設備	該 当 非該当
		屋外消火栓設備	該 当 非該当
		スプリンクラー設備	湿式 該 当 非該当
		スプリンクラー設備	乾式 該 当 非該当
		スプリンクラー設備	一斉開閉弁の二次側 該 当 非該当
		水噴霧消火設備	湿式 該 当 非該当
		水噴霧消火設備	乾式 該 当 非該当
		泡消火設備 (但し、消火剤混合装置の一次側で水配管に限る)	湿式 該 当 非該当
		泡消火設備 (但し、消火剤混合装置の一次側で水配管に限る)	乾式 該 当 非該当



別表

管継手の種類及び等価管長

	No.	品 名	等価管長
今回申請	8	PE消火管継手 EF45°ベンド 150	4.5 m
	9	PE消火管継手 EFチーズ 150×75	分流 8.0 m
			直流 2.5 m
従前	1	PE消火管継手 EFソケット 150	管と同じ
	2	PE消火管継手 EF90°ベンド 150	5.5 m
	3	PE消火管継手 EFチーズ 150×150	分流 17.0 m
			直流 2.5 m
	4	PE消火管継手 レデューサ 150×100	8.0 m
	5	PE消火管継手 SUSフランジ付EFチーズ（JIS10K形，GF形） 150×75	分流 8.0 m
			直流 2.5 m
	6	PE消火管継手 SUSフランジ（JIS10K形，GF形） 150	管と同じ
	7	PE消火管継手 キャップ 150	末端使用



合 成 樹 脂 製 管 等 の 基 本 設 計 事 項

申請者 クボタシーアイ株式会社

(1) 使用する消火設備の種類、湿式・乾式の別、使用する部位、設置場所

消 火 設 備 の 種 類	合成樹脂製管及び管継手
湿 式 ・ 乾 式 の 別	湿式
使 用 す る 部 位	配管
設 置 場 所	屋内・屋外消火設備

(2) 使用する材料のミルシート又は強度検査成績表

別紙による

(3) 管及び管継手の接続方式、施工方法

・ 接続方式

管及び管継手の接続方式は、EF（エレクトロフュージョン）接合。

EF接合とは、内面に電熱線を埋め込んだ管継手に管をセットした後、コントローラから通电して電熱線を発熱させ、管継手内面と管外面の樹脂を加熱溶融することで組織的に一体化させる接合方式。

・ 施工方法

別紙『水道配水用ポリエチレンパイプカタログ』による

(4) 管等（管に管継手を接続した試験試料）の図面

別紙による

(5) 支持方法を含めた設置方法

配管の支持は、横走り配管にあっては棒鋼吊り及び形鋼振れ止め支持、立て管にあっては形鋼振れ止め支持とする。

(6) 加圧送水装置から屋内及び屋外消火栓までの間で使用する部位を明らかにした代表的な設備系統図

